

減災ニュース No.25

FM番組「防災フロントライン」のご紹介

減災プロジェクトチーム

TOKYO FMで毎週土曜8:55から「防災フロントライン」という番組を放送しています。わずか3分間の短い放送ですが、災害時の身近な問題や役に立つ知識を要領よくまとめて話してくれるので、毎回興味深く聞いております。放送内容はFMで直接聞く以外にも、ニュースのスマホアプリで後日聞く方法や、この番組のホームページには放送内容がすべて記載されていますので、まとめて読むことも可能です。今回はこの「防災フロントライン」から最近の放送内容をご紹介します。

給水拠点を知る方法 (5/31 放送) 東京都では203ヶ所の給水拠点があり、給水を受けることができます。これは半径2Km以内に給水拠点があるということなので、災害時には近くの給水拠点にいけばいいが、その場所を知るためには「ロケスマ」というスマホアプリで確認できる。ロケスマは本来地図アプリだが、給水拠点の位置データをダウンロードすると、道案内までしてくれる。給水を受ける時は容器を自分でもっていくこと。汲み置きの水は飲用には3日が限度。なお、浄水器を通した水は塩素が抜けているので毎日交換が必要。



近くに蚕糸の森の給水施設があるので安心していましたが、考えてみれば蚕糸の森以外の給水地点は知りませんでした。スマホをお持ちでない方はお子さんかお孫さんのスマホにロケスマを入れておくよう頼んでおけば、万一の時も安心ですね。ちなみに蚕糸の森の次に近い給水拠点は弥生公園（方南通り沿い、中野通りとの交差点手前）でした。

ペットとの同行避難 (5/24 放送) 環境省ガイドラインでは原則ペットと一緒に避難所に避難できる。しかし受け入れ側の問題もあり自治体ごとのガイドライン策定が必要。ペットの食糧は飼い主が準備。カゴに慣れさせておく、予防注射を済ませておく、ペット用非常持出袋を用意しておくなどの事前準備が必要とのこと。



ペットを飼っている方々にしてみれば、ご自分のペットは大切な家族の一員だと思います。しかし避難所では避難された人間のお世話で



手一杯で、ペットまで手がまわらないのが実情とされます。ペットのめんどろは飼い主自身でみるしかありません。エサやトイレ、収納ケージなど、ある意味人間以上に十分な検討と準備を普段より心がけるようにしたいものです。かわいいペットにも快適な避難所生活を！

現在郵便局で防災ハンドブック（TOKYO FM編）を無料で配布しています。
興味のある方はお早めに近くの郵便局窓口へ。